

【感想】

今回、京土会のご援助をいただき、フィリピン共和国マニラに2019年9月1日から14日まで滞在し、マリキナ河川浚渫工事と施工管理において国際インターンシップに参加いたしました。

国際インターンシップは地球工学科国際コースの専門科目で、留学生は日本の、日本人学生は海外の建設現場でインターンシップをします。

私はマニラ首都圏を流れるマリキナ川の浚渫現場を回り、作業の解説や各国のODA事情、海外で働くメリットとデメリット、さらにはフィリピン情勢や社会問題などをお話いただきました。また、現場での朝礼や事務所と営業所での最終発表を通して今回のインターンシップを通して学んだことや印象に残ったことなどを現場の方々にお伝えしました。

実際に現場を見学し、様々な試験のお手伝いをする中で、京都大学で学んだ土木工学の基礎的内容やその発展的内容が実際の現場でも生かされているのを知り、私の将来の進路を深く考える素晴らしい機会を頂きました。将来どの道を進もうとも、自分の知識を世界の人々に還元していけるようにしたいという思いが強くなりました。今回の経験を今後の研究や人生のモチベーションとして、しっかりと活かしてまいります。

最後になりますが、現地の日本人とフィリピン人のスタッフの皆様、準備段階でお世話になりました萬先生、そして今回の活動を支援していただいた京土会の皆様に感謝申し上げます。